

北関東 防衛局 広報

2022.09
Vol.
112

北関東防衛局広報

目次

— CONTENTS —

- 2 第49回防衛問題セミナーを開催
- 3 木更津市長 陸自V-22オスプレイに体験搭乗
陸自UH-2ヘリコプター納入式を実施
- 4 令和4年度北関東防衛局優秀工事等の顕彰
- 5 横田基地 第374空輸航空団指揮権継承式
局長感謝状贈呈（前横田基地司令官）
局長による横田基地司令官表敬
- 6 わが町紹介（～茨城県土浦市～）
- 7 防衛施設周辺の環境整備事業 狭山市立武道館
防衛パネル展 in 護衛艦「きりしま」一般公開
- 8 地方防衛局のシゴト体験を初開催
令和4年8月1日付人事異動幹部紹介
- 9 事務所便り（～小笠原出張所～）
- 10 北関東防衛局からのお知らせ・お願い
 - ・レーザー光線の航空機への照射は犯罪です
 - ・ドローンの規制についてのお知らせ
 - ・横田飛行場周辺の高さ制限 ・在日米軍従業員募集



父島と母島をつなぐ「ははじま丸」（左）と「ぱしふいっくびーなす」（右）



編集・企画発行：北関東防衛局総務部広報室 埼玉県さいたま市中央区新都心 2-1
<https://www.mod.go.jp/rdb/n-kanto/>

管轄区域：東京都・茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・新潟県・長野県



第49回防衛問題セミナーを開催



令和4年8月8日から8月31日の間、YouTube 配信により第49回防衛問題セミナー「地形で読み解く河川災害の歴史 清流と青峰のくに信濃の守り」を開催しました。(視聴回数1,166回)

今回のセミナーは、令和元年10月に発生した台風19号の豪雨による長野県千曲川流域の大規模な浸水被害をはじめ我が国の河川災害及び河川防災の歴史や特色、また、長野県内における自衛隊の災害派遣活動をテーマとし、河川災害をはじめとした自然災害における自衛隊の活動について一層理解を深めていただくとともに、防災に関する知識の促進を目的としました。

講演では、特定非営利活動法人 日本水フォーラム 代表理事 竹村公太郎氏から「地形で読み解く河川災害の歴史と日本人のアイデンティティー」をテーマに、河川災害が起きないように堤防を締め固めてきた先人の知恵や考え方、日本の河川の成り立ち、地形から河川災害の歴史を読み解くという独特な視点で講演していただきました。

また、松本駐屯地（長野県松本市）に所在する第13普通科連隊副連隊長の浅笠良蔵2等陸佐からは、「陸上自衛隊松本駐屯地の任務と災害派遣活動」をテーマに、松本駐屯地の任務や役割を分かりやすく説明いただいたほか、自衛隊が対処した災害、平素の取り組み、令和元年度台風19号に係る災害派遣活動について講演していただきました。

質疑応答では、長野県内の地方公共団体と国土交通省北陸地方整備局千曲川河川事務所の皆様から、「日本の河川は今後どのように変化し、その変化にどのように対応していけば良いか。」「自衛隊の災害派遣時に必要な情報や自治体の体制はどのようなものか。」などの質問を受け、竹村公太郎氏と松本駐屯地司令兼第13普通科連隊長の鏡森直樹1等陸佐から講演内容の理解がさらに深まる丁寧な回答をいただくことができました。

視聴者の方々からは、「流域治水の考え方の背景には、洪水対策に関する長い歴史と先人の知恵があることを改めて理解し、興味を深めることができた。」「地震や水害だけでなく、自衛隊の災害派遣活動について知ることができた。」等のご意見を頂戴することができ好評なセミナーとなりました。ご視聴いただきましてありがとうございました。



☆ YouTube チャンネル登録 Twitter のフォローはこちらから ☆



北関東防衛局地方協力基盤整備課
@mod_kitakanDB

渡辺木更津市長 陸自V-22オスプレイに体験搭乗

令和4年7月22日、木更津駐屯地に暫定配備されている陸上自衛隊V-22オスプレイについて、木更津市側からの要望を受け、渡辺芳邦市長、重城正義市議会議長をはじめ市議会議員や木更津駐屯地に関する協議会部会の委員である駐屯地周辺地区の区長ほかのみなさまによる体験搭乗が実施され、同機の安全性などへの理解を深める機会としていただきました。

今般、扇谷北関東防衛局長も搭乗し、あいにくの空模様の中、駐屯地上空の回転翼モードでのホバリングから固定翼モードでの一連の飛行について、高度に安定した飛行が行えることを確認しました。

北関東防衛局としては、これからも防衛省・自衛隊の活動等の理解を深められるよう取り組んでまいります。



V-22に搭乗する渡辺市長（左）



前列中央が渡辺市長、同列右から
2人目が扇谷局長

陸自UH-2ヘリコプター納入式を実施

令和4年6月30日、栃木県宇都宮市の株式会社SUBARU宇都宮製作所において、陸上自衛隊新多用途ヘリコプター（UH-2）の納入式が執り行われました。

UH-2は、UH-1Jの後継機として陸上自衛隊の部隊等に装備し、空中機動、航空輸送及び災害派遣等の各種任務に使用する多用途ヘリコプターであり、株式会社SUBARUと米国ベル社との国際共同開発プロジェクトにより、民間機であるSUBARU BELL 412 EPXをベースに陸上自衛隊向けの仕様を織り込んで開発した機体です。

平成31年2月に試作機が納入された後、令和元年度から量産機の製造が進められ、この度、量産初号機が陸上自衛隊に納入されたものです。

北関東防衛局としては、製造請負契約が円滑に履行されるように、栃木県内の企業を管轄する宇都宮防衛事務所を通して、機体製造現場における監督・検査を実施し、要求される品質の確保と安全管理に留意して調達業務に取り組んできたところです。

納入式では、陸上幕僚副長をはじめとした防衛省、自衛隊、地元自治体、協力企業等の関係者が出席し、北関東防衛局長ほか代表者のテープカットにより株式会社SUBARUから陸上自衛隊に機体が引き渡されました。



右から3番目が扇谷局長、左から2番目が
陸幕副長

令和4年度北関東防衛局優秀工事等の顕彰

令和4年度北関東防衛局優秀工事等顕彰として、令和3年度に完成・完了した建設工事等より優秀工事に3社、優秀業務に3社及び優秀工事技術者に3名を選定しました。

選定された建設工事等は、その目的物の出来高又は品質が優れているもので、他の模範とするにふさわしい等、その功績が認められるものを選定し顕彰状が贈られました。

【優秀工事】

- | | |
|--------------------------------------|------------------------------|
| ① 府中（元）庁舎新設等建築工事
府中（2）庁舎新設等建築追加工事 | 青木あすなる建設株式会社東京本店
有限会社防長土建 |
| ② 府中（2）庁舎新設土木工事 | |
| ③ 府中（元）庁舎新設等機械工事
府中（2）庁舎新設等機械追加工事 | 株式会社精研東京本社 |

【優秀業務】

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| ① 木更津（2）格納庫新設等建築設計 | 株式会社梓設計 |
| ② 相馬原（3）整備工場新設等土木設計 | 株式会社キクチコンサルタント |
| ③ 硫黄島（3）滑走路新改修等土木調査設計 | パシフィックコンサルタンツ株式会社埼玉事務所 |

【優秀工事技術者】

- | | |
|--------------------------------------|----------------------------------|
| ① 府中（元）庁舎新設等建築工事
府中（2）庁舎新設等建築追加工事 | 青木あすなる建設株式会社東京本店
監理技術者 笠井 隆一郎 |
| ② 府中（2）庁舎新設土木工事 | 有限会社防長土建 監理技術者 高須 良平 |
| ③ 府中（元）庁舎新設等機械工事
府中（2）庁舎新設等機械追加工事 | 株式会社精研東京本社
監理技術者 西村 一陽 |

【優秀工事受賞建物】 府中庁舎



【庁舎外観南側】



【幹部執務室】

横田基地第374空輸航空団指揮権継承式

令和4年6月23日、在日米軍及び第五空軍司令官リッキーN. ラップ中将が式典執行官として、米空軍横田基地において第374空輸航空団指揮権継承式が行われ、アンドリューJ. キャンベル大佐の後任にアンドリューL. ラダン大佐が新司令官に就任しました。

式典の中でラップ中将は、「キャンベル大佐は素晴らしい功績を残した。史上最大規模の日米空挺作戦、日米友好祭やそれらで培われた地域社会との関係、飛行場運用の向上、医療、整備、運用、任務支援の隊員のたゆまぬ努力によって培われた即応性と確かな抑止力の強化など、この航空団の成功は数えきれない。この数年の（キャンベル大佐の）尽力なしに成しえなかった」と語りました。

また、キャンベル大佐は、「この横田の素晴らしいコミュニティで第374空輸航空団の司令官を務めたことは生涯で最も名誉なことだった。第374空輸航空団そしてチーム横田全部隊で使命に奮闘努力する諸君を心から誇りに思い、ここを後にする。寒さや雨の中での警備、友好祭でエアフォースワンが着陸した際の激励等、諸君のプロ意識と熱意は一線を画すものだ。我々が守る平和と安定は、臆しては得られないことを、これからも胸に刻んで欲しい。自由、自身の自由、そして我々が共有する自由は、果敢に挑むことで得られるものである。空輸任務に果敢に挑み続けて欲しい」と語りました。

最後に、新たに司令官に就任したラダン大佐は、「時間をかけて私を導き、教え、支え、準備してくれた全ての人たちのおかげでここにいる。私が仕えてきた上司、共に働いてきた仲間、指導してきた部下たち、お世話になった軍外部の人たち、私を育ててくれた全ての人たちに感謝し、あなた方の努力によって私はこの日を迎えることが出来た」と語りました。

ラダン大佐はこれまで、アメリカのリトル・ロック空軍基地第19運用群司令官、オフアット空軍基地アメリカ戦略軍司令部付アメリカ輸送軍連絡官等を歴任しており、日本での勤務は初めてとのことです。



(左から、ラップ中将、ラダン大佐、キャンベル大佐)

※写真は横田基地ホームページより引用

令和4年度 局長感謝状贈呈 (前横田基地司令官)

令和4年6月23日、扇谷北関東防衛局長は、アンドリューJ. キャンベル大佐に対し、感謝状を贈呈しました。

キャンベル大佐におかれては、令和2年6月から令和4年6月までの2年間の任期中、当局が行う防衛行政に御理解と御協力をいただき、積極的な情報提供などにより横田基地周辺自治体との良好な関係構築に多大な貢献をされたことから、この度のスコット空軍基地（アメリカ）への御栄転にあたり感謝の意を表したものです。



(左から、扇谷局長、キャンベル大佐)

扇谷局長による 横田基地司令官 表敬

令和4年7月29日、扇谷北関東防衛局長は、横田基地司令官ラダン大佐を表敬訪問し、我が国と周辺地域の防衛のため、日夜厳しい任務に取り組んでいることへの敬意を表すとともに、周辺自治体との良好な関係構築に寄与する横田基地の取り組みについて感謝の意を伝えました。

これに対し、ラダン大佐からは、周辺地域との信頼関係構築のため、今後も相互のコミュニケーションに努める旨発言がありました。



(左から、扇谷局長、ラダン大佐)

夢のある、元気のある土浦

土浦市は、日本第2位の湖面積を誇る霞ヶ浦の西端に位置し、東京から約60km圏内、茨城空港から約20km圏内、成田国際空港から約40kmに位置し、茨城県南の中核都市として発展してきました。霞ヶ浦から筑波山麓に至る自然豊かな環境に恵まれ、歴史的景観を残す街並みや、ナショナルサイクルルートに指定された「つくば霞ヶ浦りんりんロード」、全国の花火師が卓越した技を競い合う「土浦全国花火競技大会」、日本一の生産量を誇る「れんこん」をはじめとする農作物など、多くの「地域の宝」があふれています。

現在は、本市の将来像である『夢のある、元気のある土浦』の実現を目指し、これらの「地域の宝」を最大限に生かしながら、子育て支援、公共交通整備、災害対策などの施策を実施し、暮らしの質の向上に向けたまちづくりを推進しています。



イメージキャラクター
つちまる

つくば霞ヶ浦りんりんロード

筑波山コースと霞ヶ浦コース、全長約180kmのルートで、市外・県外からも多くのサイクリストが訪れ、サイクリングを楽しんでいます。



日本一のれんこん

土浦市は、れんこんの栽培に適した低湿性水田地帯で古くから栽培がおこなわれ、現在「日本一の産地」となっています。



土浦全国花火競技大会

秋の夜空を華やかに彩る「土浦全国花火競技大会」は、大正14年から続く歴史と伝統のある花火大会です。

防衛施設周辺対策事業

土浦市には陸上自衛隊の霞ヶ浦駐屯地があり、基地の運用に伴う支障を軽減することを目的として、防衛省から補助を受けて消防車・救急車の整備を行っております。

令和3年度に補助を受け整備したこちらの消防車は、土浦市消防本部内で最も大きい8,000リットルの水槽を備えた消防ポンプ自動車で、市内全域の火災に出場する重要な役割を担っております。



文・写真とも土浦市に寄稿いただきました。

防衛施設周辺の環境整備事業

狭山市立武道館が完成しました

狭山市立武道館は、埼玉県狭山市において令和2年度から3年度にかけて整備されました。本施設は、柔道や剣道など、武道の振興や武道教育の拠点施設として整備され、武道のほかにもダンスや体操などの活動にも利用できます。道場は冷暖房設備を完備した試合場4面を有しており、災害時は避難所としても活用できます。

当局は、狭山市に所在する入間飛行場の航空機による飛行訓練等、防衛施設の運用により市民の生活に影響を及ぼしていることに鑑み、防衛施設と周辺地域との調和を図るため、「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」に基づく民生安定施設整備事業として、整備費用の一部を助成しています。

当局といたしましては、今後とも防衛施設周辺にお住まいの皆様方の生活の安定と福祉の向上に寄与するための各種施策の実施に取り組んでまいります。



【施設の概要】

構 造：RC造一部S造
平屋建
延床面積：約1,235㎡
総事業費：約5億69百万円
補助金額：約1億58百万円

防衛パネル展 in 護衛艦「きりしま」一般公開

令和4年7月16日、17日に新潟東港で行われた護衛艦「きりしま」一般公開において、北関東防衛局の広報ブースを出展し、防衛パネル展を開催しました。今回のパネルは、令和3年版防衛白書のダイジェスト版や当局の業務を紹介したものです。パネルを見て答えるクイズやキャラクターを探し出すゲームに多くの方々が参加して、延べ1300名以上が来場されました。護衛艦「きりしま」のペーパークラフトや防衛白書パンフレットの配布も大変好評をいただきました。

今後も様々なイベントの場を活用した広報活動を行って参りますので、当局のブースや防衛パネル展を見かけた際には、是非お立ち寄りください。



護衛艦「きりしま」



防衛白書パンフレットの配布
ゲーム・クイズの紹介



クイズに取り組む来場者

地方防衛局のシゴト体験を初開催！～参加者が目標見つける～

グループで交流事業を企画中の参加者



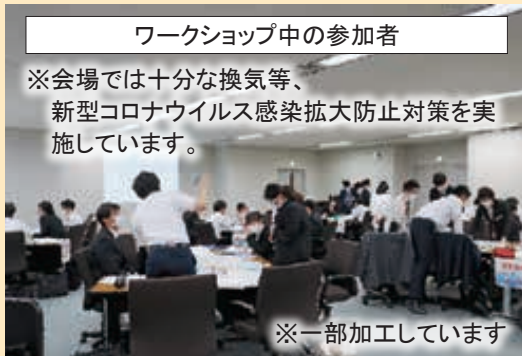
※写真は現職チーム

架空の関係機関役と調整する参加者



ワークショップ中の参加者

※会場では十分な換気等、
新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施しています。



※一部加工しています

当局では、5月から7月の間に4回、国家公務員採用一般職試験（大卒程度及び高卒者試験）から行政職を目指す受験予定者に向けた、「地方防衛局のシゴト体験」を初開催し、延べ100名以上が参加しました。

同体験は、参加者が当局職員役となり、用意されたシナリオを元に日米交流事業を企画・開催するため、シナリオで登場する架空の関係機関と調整を行いながら企画の取りまとめを行っていくロールプレイング型ワークショップです。

当日、参加者は防衛省や地方防衛局の業務説明を受けた後、5～6名1チームのグループに分かれ、当局職員が扮する架空の関係機関役や上司・同僚役と調整・相談を行い、その内容を元に日米交流事業実施に向けた企画立案を行っていきます。架空の関係機関には仮想の自治体・米軍・自衛隊など普段地方防衛局が調整している相手方が含まれており、それぞれの要望などを踏まえ、参加者はより良い企画を作り上げていきました。

シナリオは架空のものですが、関係機関役に扮した職員は、当局で普段から自治体等と調整を行っている担当者で、参加者から調整を受けた際の回答も実際の業務においてやり取りされる内容とそん色のないリアルなもので、参加者らは「自分の好きなように企画するのではだめで、関係者の要望などを踏まえた調整がいかに大事か実感した」など、地方防衛局業務の奥深さを実体験していました。

同体験終了後、参加者から合格後の目標について、「防衛省で地元調整業務に携わり地元自治体のために頑張りたい」、「日米交流事業や補助金事業に携わりたい」など非常に前向きな意見を聞くことができ、進路決定の目標を見つけたようでした。

当局では同様の取組を引き続き行って参りますので、国家公務員一般職を目指される方は是非ご参加ください。

令和4年8月1日付人事異動幹部紹介



北関東防衛局次長

本橋 克広

8月1日付で次長を拝命しました本橋です。

北関東防衛局での勤務は、前身の東京防衛施設局以来約20年振りになります。当時、関係者の皆様大変お世話になったことが非常に懐かしく思い起こされます。

時代や地域によって地方防衛局の担う課題は様々ですが、その中であっても、陸海空自衛隊や在日米軍の施設や装備の円滑な運用には、地元自治体や住民の皆様のご理解とご協力が必要不可欠であることは、常に変わらぬ事実と思っております。

それを常に念頭に置いて、全力で職務に取り組むみたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。



装備部長

熊田 昭一

8月1日付で装備部長に着任しました熊田です。

装備部が担当しております業務は、自衛隊が災害派遣や防衛出動等で使用する装備品などの中央調達（防衛装備庁が契約を行う調達）に係わる検査等であり、いざ、という時に適正に使用できる装備品などが納入されることを確保すべく、全力で取り組んでまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

小笠原航路と食料事情

小笠原諸島は、東京から南約1000kmの太平洋上に散在する30余りの島々の総称で、小笠原群島（聳島、父島、母島列島）、火山列島（硫黄列島）、三つ孤立島（西之島、南鳥島、沖ノ鳥島）から成り立っており、当出張所は父島にある小笠原総合庁舎内に所在しています。

気候は亜熱帯海洋性気候に属し、寒暖差が小さく、年間を通して比較的過ごしやすい気候ですが、厄介なことに台風がたびたび襲来する地域でもあります。

観光業が盛んで、透き通る海でのマリンスポーツや大自然を満喫するトレッキングを目的に、毎年多くの観光客が来島していましたが、令和2年度から新型コロナウイルス禍で観光客は激減しました。今年度からやっと増加傾向にあり、島の活気も戻りつつあります。

父島への唯一のアクセス手段である定期船「おがさわら丸」が東京の竹芝桟橋から約1週間に1便のペースで運航しています。現在就航しているこの定期船は、平成28年に就航し、総トン数約11,000トンの大型船ですが、小笠原までの片道約1000kmを23.8ノット（約44km/h）で航行するため、24時間を要します。定期船の歴史をさかのぼると、小笠原諸島が返還された4年後の1972年（昭和47年）に「椿丸」が就航したのが始まりです。当時は約1000トンの船で片道44時間も要していました。その後、徐々に船舶の大型・高速化を図っていたことに伴い、当時と比較すると現在では所要時間が大幅に短縮されたこととなります。

このほか、貨物船「共勝丸」が不定期に運航しており、定期船では運びにくい建築資材やガソリンなどの危険物や島で発生した廃棄物等を運搬しています。

おがさわら丸は、年一回点検のためにドック（船の定期健診のようなもの）に数週間入りますが、この間、伊豆諸島航路で活躍している「さるびあ丸」が代替船として旅客や生活物資を輸送する役割を担ってくれています。



おがさわら丸ドック中の代替船「さるびあ丸」

食料事情：

空路を持たない島にとって、航路が唯一の運搬手段であり、食料品は最も欠かすことができないものの一つです。定期船の出港後、次に入港してくるまでの間は食料品が島に入ってきません。そして入港当日、定期船からいくつもの大きなコンテナが港に下ろされ、食料品が数少ないスーパーに入荷されていきます。品物が店内に入りきれず、路上に段ボールに入ったまま陳列しているスーパーも。入港前にはガラ空きだった陳列棚が一気に華やかになります。一週間待ちに待ったと言わんばかり、老若男女問わず皆さん真剣な眼差しです。その日ばかりの店内は普段と違って客が多く、レジも長蛇の列。買い物かごを満載にしていることもあって、時間帯によっては数十分並ぶこともしばしば。今では本土並みにインターネット網が整備されていることから、生鮮食品を除けばネット通販で購入している人も増えているようです。

父島に来島する艦艇及び飛行艇



輸送艦「おおすみ」



掃海母艦「ぶんご」と掃海艇



飛行艇「US-2」

北関東防衛局からのお知らせ・お願い

レーザー光線の航空機への照射は 犯罪(注)です。

東京都内、神奈川県内、沖縄県内等で飛行中の航空機に対してレーザー光線を照射するという事案が多発しています。

墜落等による大惨事をもたらしかねない大変危険で悪質な犯罪ですので **決して行わないで下さい。**



照射している人を見かけた方は **110番通報** をお願いいたします。

(注) 平成28年12月、改正航空法施行規則が施行され、規制が強化(レーザー光線を航空機に向かって照射する行為自体に罰則(50万円以下の罰金))。

刑法の威力業務妨害罪(3年以下の懲役又は50万円以下の罰金) 航空危険行為処罰法の航空危険罪(3年以上の有期懲役)等に該当する場合あり。

平成27年12月及び平成28年1月に威力業務妨害罪で逮捕例あり。

防衛省、外務省、警察庁、国土交通省

■内容についてのお問い合わせにつきましては下記に御連絡願います。

北関東防衛局 企画部地方調整課連絡調整室 (東京都、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、新潟県、長野県を管轄) 防衛省本省 地方協力局在日米軍協力課渉外班	(代表) 048-600-1800 (内線:2225、2236、2226) (直通) 03-5362-4851
---	---

ドローンの規制についてのお知らせ

小型無人機等飛行禁止法により指定されている**自衛隊施設/米軍施設その周辺地域**(周囲約300m)の上空における**ドローン等の飛行は、原則として禁止されています。**

これに違反した場合、次のような措置/罰則もあります。

- 警察官等による安全確保措置
- 最大懲役1年/罰金50万円

周囲おおむね300mの地域の上空(イエロー・ゾーン)

自衛隊施設/米軍施設の敷地・区域の上空(レッド・ゾーン)



※このほか、**航空法上の無人航空機の飛行禁止空域**においてドローン等を飛行させる場合、夜間にドローン等を飛行させる場合等には、別途、**国土交通大臣の許可又は承認を得る必要があります。**

対象防衛関係施設及び飛行をさせたい場合の手続の詳細については、**防衛省HP**をご参照ください。

<https://www.mod.go.jp/j/presiding/law/drone/index.html>



防衛省・警察庁・外務省・国土交通省

お問い合わせ先

防衛省 北関東防衛局 企画部地方調整課連絡調整室
【代表】 048-600-1800 (内線: 2225、2236、2226)

横田飛行場高さ制限について

飛行場には航空機の安全な運航を確保するため、航空機の離着陸の経路に当たる一定の空域に飛行場の規模に応じて建物等の高さ制限が設けられています。

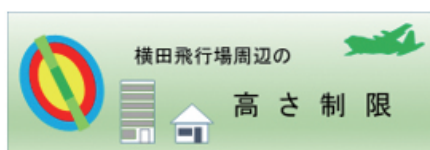
横田基地ホームページ(<https://www.yokota.af.mil/>)では、横田飛行場周辺の建物等の高さの制限を地図で確認できるサービスを提供しています。

利用方法

北関東防衛局ホームページ

(<http://www.mod.go.jp/rdb/n-kanto/>)

トップページ右側のバナーをクリックすると利用方法が参照できますのでご利用ください。



在日米軍従業員募集

独立行政法人駐留軍等労働者
労務管理機構(エルモ)では、
在日米軍基地で勤務する従業員
の募集を行っています。

興味のある方は、エルモホームページをご覧ください、
下記の支部にお問い合わせください。

※求人情報提供メールサービスに登録すると、希望する求人情報がホームページに掲載される都度、お知らせメールが送信されますのでご利用下さい。



[Twitter]

令和3年4月より、求人情報等の募集関連情報を定期的に発信しています。ぜひ、フォローをお願いします。

アカウント名

「在日米軍従業員求人情報(エルモ) @LMO_recruit」

Twitter



【窓口応募受付・お問い合わせ先】

エルモ横田支部管理課管理二係

住所: 東京都昭島市田中町568-1 昭島昭和第2ビル4階

電話: 042-542-7663

担当施設: 横田飛行場、ニューサンノール米軍センター、赤坂プレス・センター他

<https://www.lmo.go.jp>

L M O 検索

エルモ
ホームページ



求人情報
本州・九州の
基地



★「北関東防衛局広報」のバックナンバーは、北関東防衛局のホームページでご覧になれます。

<https://www.mod.go.jp/rdb/n-kanto/kouhou/kouhou.html>

北関東防衛局広報

検索